

講演

「福島、その後」

第2会場 《アートスペース》②

第1日目 13:40~15:10

1)「東日本大震災の記憶元「朝日館」旅館

♡演者♡ 村上 美保子

130年以上続いた旅館「朝日館」の女将。被災後は仮設住宅に住みながら地域の人たちとともに地域の復興活動や講演活動に従事。福島県新地町釣師浜は、津波で全てを流されました。地域の人は同じ避難所に入り、仮設住宅も全員同じ場所に入居できました。応援してくだる人がいる一方、思い出したくない、忘れようとしている人たちもいます。特に、家族を亡くした経験は大きいです。家族を失う苦しみは、私も経験があるのでよく分かります。今後も地域とのつながりを通して、少しでも心が楽になってもらえたらと思っています。



2)「絆一座」再び

♡演者♡ 遠藤 清次(絆診療所 院長) 鶴嶋綾子(同管理栄養士)

2011年3月11日 東日本大震災が起き、福島第1原発事故が発生した。福島県・南相馬市立小高病院は原発から18kmの所にあり、事故直後68人の入院患者を近くの総合病院に送った。しかし3月14日福島第1原発3号機が爆発して、「みんなここで死ぬのよ」と防護服を着て、互いに名前を書いた。2012年5月1日、南相馬市の仮設店舗の中に仮設診療所を開設した。仮設住宅に往診に行ってみると、狭い部屋、食事の偏り、運動不足、先が見えない、生きがいがないなど苦難の生活であった。この状況を少しでも改善するため、自らを「絆一座」と称して、集會場で健康講座を始め、約3年間で72回の興行を行った。そして2015年11月新たに南相馬市鹿島区に「絆診療所」を開設。人と人の繋がりを大切に、地域の人々に生活を支えている。その後「絆一座」は仮設住宅の閉鎖で活動を休止していたが、2024年8月より、災害公営住宅に住む人々の孤立を防ぐため活動を再開した。



講演

『浮腫むくみを知ろう。ステージとケアの実際』

第3会場 《創造活動室B》③

第1日目 16:00~17:30

♡演者♡ 堀田 智弘(松葉治療室:指圧マッサージ鍼灸師)

①浮腫むくみの状態(ステージ1、2、前期後期3、前期後期4)を知ろう。②なぜむくむのか? ③ケアの基本 ④日常のケアと医療的ケアの実際(自己管理と他者管理のバランス)⑤大切なこと、今より悪くない・・・より積極的な取り組み、運動であり、食であり、清潔を保つであり、自分の身体と上手につきあう人生設計と行動である。



体験

「アロマセラピストによるハンドトリートメント」

第4会場 《創造活動室C》④

第1日目 13:40~17:30

第2日目 13:00~15:30

♡施術者♡ 白井順子、前原右子、他8名のアロマセラピスト

緩和ケア病棟では、がんによる心身の苦痛を抱えている患者様やご家族の辛さを和らげるために、問題に向き合い、チームで話し合い、多職種で支えています。自分自身、患者、家族、支えるスタッフ全ての方に癒しを感じてもらいたい。森林浴などで気分が和らいだ経験はありませんか?アロマセラピーとは、植物の香りを使用して、心や体の不調を穏やかにする効果があると言われてます。「あーいい香り」と思うことで、一瞬でも痛みを忘れられたらと思います。香りが苦手な方にも、無香料で優しくハンドドレナージュを行うことができます。アロマセラピーで穏やかなひと時を感じてみてはいかがでしょうか?



講演と対談

『地域医療と地域の鍼灸院との関わり』

第2会場 《アートスペース》②

第2日目 9:30~11:30

2004年明治鍼灸大学(現:明治国際医療大学)鍼灸学部卒業、2010年東海大学医学部卒業2020年長崎県南島原市に転居し、地域医療に従事する。在宅看取りを含め、在宅診療も行っている。日々の臨床に従事しながら、医はき師(二医師・はり師・きゅう師)を名乗り、医師と鍼灸師連携をすすめている。また、南島原市議会議員として特に医療看護介護福祉における、まちづくりに参画している。



♡演者♡ 寺澤 佳洋(医師、鍼灸師)



NPO全国鍼灸マッサージ協会会長、事業協同組合全国鍼灸マッサージ師協会理事長を歴任し、現在、(一社)全国鍼灸マッサージ協会会長。日本プライマリケア連合学会において「地域医療における鍼灸治療の活用」ワークショップを開催。日本死の臨床研究会では「真の援助者を目指して」シンポジストとして登壇するなど、鍼灸師として患者・家族を支える活動を行っている。

「ホスピスに関わる方へ～家庭で手軽にできるツボ講座～」

(1)ツボ講座 13:40~ ♡演者♡ 齋藤 剛康 (2)治療体験 14:10~ ♡施術♡ 副鍼灸治療院

第3会場 《創造活動室B》③ 第1日目 13:40~15:40

体験と講義

講演・展示 似顔絵体験

『故人と遺族の絆を繋ぐ絵画「絆画」展』

第5会場 《研修室大》⑤

第2日目 10:00~15:30

(休憩 11:30~13:00)

♡似顔絵師♡大村 順(画家・キズネットワーク代表)

2003年から似顔絵師として活動を開始。親友との死別をきっかけに、2017年から自死、病氣、事故、死産など、大切な方を亡くされたご遺族のもとに伺い「今あの人が生きていたら」という願いを、1枚の絵で叶える絆画(きずなえ)の活動を始める。その後、NHKやCBCなど多数のメディアで取り上げられる。そして現在も似顔絵やイラストの仕事をしながら絆画作家として全国・全世界のご遺族のもとに伺って絆画を描いている。



講義・実技

「がん患者を支えるアピランスケア」

第5会場 《研修室大》⑤

第1日目 13:40~15:40

===緩和ケア美容師による心のケア、ウィッグを通しての取り組み===

抗がん剤治療や脱毛症で悩む患者の方々に、美容師という異業種ですがウィッグの似合わせカットを通じて、ヘアスタイルだけでなく心のケアも踏まえた施術をしています。患者さん同士情報交換の出来るチャットの運用をして不安を癒せる場作りも始めました。「美容の観点から患者さんをポジティブに」を実現する為、日々取り組んでおります。



♡演者♡ 小山 結美(گران・ジュエ代表)

パフォーマンス

「ホスピタルクラウンによる講演とパフォーマンス」

第2会場 《アートスペース》②

第2日目 13:00~14:30

♡演者♡ 大棟 耕介(NPO日本ホスピタル・クラウン協会代表)

NPO法人日本ホスピタル・クラウン協会代表、クラウン歴32年。サーカス、遊園地でパフォーマンスするだけでなく、東北、熊本、能登半島などの被災地、ウクライナなどの戦地でも活動を行っています。小児病棟でのホスピタル・クラウン活動は、20年以上。現在、全国150名の認定クラウンと、北海道から沖縄までの96病院の小児病棟でパフォーマンスをしています。死が近い環境でパフォーマンスを続けてきた経験から、ユーモア、笑いの必要性をお話します。



朗読・ギター演奏

「絵本で素直な気持ちに出会う」

第3会場 《創造活動室B》③

第2日目 9:30~11:30

♡演者♡ 辻 典子(アドリエロッタ 店主)

絵本はこどものためのものですが、おとなにとってもこころに響くものがたくさんあります。おとなは、いろんな経験をしているからこそ、何気ない絵本の中に共感したり、感動したり、癒されたり、元気をもらったりします。今回は、その中でも生と死を感じる絵本の展示と読み語りを通して何かしら感じていただけたらと思います。



展示・ビデオ

「癒しの音楽を聴きながら。。。」

=がん治療に関する各種相談コーナーあります=

第3会場 《創造活動室B》③

第2日目 13:00~15:30

成田記念病院では、2023年11月から9階に緩和ケア病棟を開棟しました。がんと診断された方の疼痛や症状の緩和を図るため、患者様やご家族の悩みが軽減し、がんと寄り添いながら過ごす時間や場所について考えられるよう、チームで支えたいと考えています。緩和ケアは「がんと診断された時から」と言われております。

当院には緩和ケア病棟だけでなく、化学療法、放射線治療、陽子線治療、温熱療法、高気圧治療とがん治療が行える様々な環境、設備が整っています。今回のイベントでは、地域の皆様が新たな情報を得たり、不安の軽減が図れるよう当院の多職種や関連施設のスタッフが揃っています。各ブースを回りがんについて、当院について知る機会となって頂けたら幸いです。



成田記念病院♡緩和ケア病棟看護部♡

体験&休憩

『身体を安全に温めるカイロ「海のカイロHokoHoko」』

第6会場 《研修室小》⑥

第1日目 13:40~17:30

♡堀田 恵理子♡(鍼灸師・美容師)

海のカイロHokoHokoは、赤ちゃん、ご年配の方、重病の方でも、低温やけどの心配をしないでご使用いただけますよう配慮したカイロです。現在、成田記念病院の緩和ケア病棟でご使用頂き、喜ばれています。カイロの中は塩とサンゴです。やさしい温かさを体験してください。



実技・体験

「息苦しさに手をあてる」呼吸介助法を体験しよう！」

第6会場 《研修室小》⑥

第2日目 13:00~15:30

♡施術♡ 水野敏子(看護師)、他5名の看護師

宮崎県出身。愛知県医師会名古屋高等看護学院卒。看護師。本大会実行委員。療養者の「息苦しさ・痰が出せない」苦痛に対し、看護職による「息吐いて」研究班を募り、2022年度名古屋医療サービス事業団研究助成事業として報告しました。明日から役に立つ優しい誰もが出来る「呼吸介助法」を体験しませんか。



♡タイムスケジュール♡ ご案内は中面にあります(その他企画あり)

♡企画等についてのお問合せ先♡

豊橋ホスピスを考える会事務局

メールアドレス toyohashiseitoshi2025@gmail.com